



問

答

地域が元気に活動、活性化する地域自治を
自治基本条例や協働の指針に基づき協議

豊創会 村上 孝 議員

議員 地域差はあるが、本村も少子高齢化社会を迎える中で地域活性化が重要。

村民生活部長 東海村人口ビジョンと、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、地区自治会からまちづくり協議会への移行など行いたい。

議員 地域では自治会が無くなるのではないかと噂もある。

村民生活部長 地域のことを自ら決め、実行する大切な団体で、引き続き補助金、交付金及び助成金の一括化による自治会の事務負担軽減、自治会加入率向上に向け、自治会連合会と協働で行う。

議員 自治基本条例で村民が主体でまちづくりを協働して推進とある。村税、123億円の10%を村民ができることは任せ、できないことは行



自治集会所と広場

政が行う。必ず財源は帰ってくる。また、お金では買えないものが戻ってくる。これが活性化につながる。

村長 自治会組織を中心とした継続的な活動が行われ、自治会、ひいては地域の活性化につながり、村民と行政が協働により取り組むことで持続可能な村政運営に努めていく。



問

答

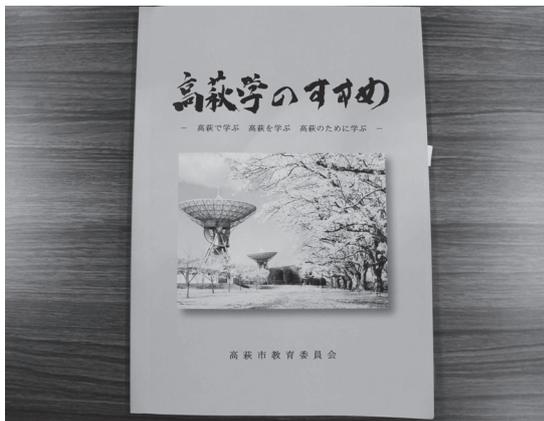
東海村の郷土学習が足りない
総合的学習の年間指導計画を見直す

新政会 吉田 充宏 議員

議員 子どもたちに東海村の郷土文化、偉人などを理解してもらい、東海村を愛し、誇りを持ってもらうために、郷土学習が重要と考える。高萩市が義務教育の9年間、約40時間を通して取り組む、郷土学習「高萩学のすすめ」が実践4年目を迎え、評価を得ている。本村でも検討すべきではないか。

教育長 本村では、東海村のまちづくり、産業、文化、観光、ゴミの問題など、すべての小・中学校で同じように学ぶことができるような総合的学習の年間指導計画の見直しを図っていく。高萩市や大子町の取り組みも参考にします。

議員 前向きに検討するとの答弁と認識した。東海12景以外にも文化財・記念物が多数ある。指定し、周知し



高萩学のすすめ

ただけでは、見に行かない。村民が見に行く、仕組みを作る必要がある。
教育長 議員おっしゃる通り仕組みがない。まず、東海12景であれば、先生方へどこにあるか巡教する。本村の名所・旧跡を辿れるようなマップ作りもしたい。